

# 物質使用障害

- 国家試験頻出分野
- 特にアルコール依存症は重要
- 用語の整理が得点の鍵

# 目次

1. 物質使用障害とは
2. 乱用・依存・嗜癖の違い
3. 依存症の症状と成立要因
4. アルコール依存症
5. スクリーニングと自殺リスク
6. 看護のポイント

# 到達目標

本講義終了後、学生は以下を説明できる。

1. 物質使用障害の基本概念を説明できる
2. 乱用・依存・嗜癖の違いを説明できる
3. アルコール依存症の特徴と危険性を説明できる
4. 国家試験で問われる看護の視点を説明できる

# 用語の整理

- 乱用：有害な使用（WHOでは使用しない）
- 依存：やめたくてもやめられない状態
- 嗜癖：強迫的使用＋生活破綻

# 依存症の2側面

- 精神依存：使用欲求・コントロール不能
- 身体依存：耐性・離脱症状

# 身体依存が起こりやすい物質

- アルコール
- モルヒネ
- ニコチン
- バルビツール酸系

# 依存症成立の要因

- 個人要因：ストレス・衝動性
- 対象要因：陶酔感・離脱症状
- 環境要因：入手容易・共依存

# アルコール乱用と依存



# アルコール依存症の特徴

- 慢性・再発性疾患
- 離脱症状（振戦せん妄）
- 断酒は一生継続

# アルコールと自殺

- 自殺リスク増大
- 酩酊時は衝動性↑
- 中高年男性に多い

## CAGE (アルコール依存症スクリーニングテスト)

1. 飲酒量を減らさなければいけないと感じたことがありますか
2. 他人があなたの飲酒を非難するので気にさわったことがありますか
3. 自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか
4. 神経を落ち着かせたり, 二日酔いを治すために, 「迎え酒」をしたことがありますか

# CAGEテスト

C：減らす必要

A：非難

G：罪悪感

E：迎え酒

※2点以上で依存疑い

# 看護のポイント

- 否定しない
- 家族支援
- 地域資源活用

# まとめ

- 用語整理が重要
- アルコール依存は最頻出
- 看護は継続支援